



東区バスは平日運行に加え、平成26年7月1日から平成27年3月31日までの間、土曜・休日運行の社会実験を行っています。(12月29日～1月3日を除く)
 松崎ルートは1日5便、河渡ルートは1日8便運行しています。
 詳しい時刻表を掲載した運行ガイドは、東区役所山の下行政サービスコーナー、石山出張所、大形連絡所、東区バス車内などに設置のほか、東区ホームページにも掲載しています。多くの方に「乗車いただくことで本運行の可能性が高まりますので、積極的にご利用をお願いいたします。」

東区バス
土曜・休日運行の社会実験を行っています！

トーク(権)
**東区する
 コミ協
 情報**

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域における課題を解決するため、地域で主体的な取組のもと結成された組織です。概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、地域のさまざまな団体等で構成され、東区内には12コミ協が活動しています。
 今回は2つのコミ協を紹介します。

南中野山小学校区コミュニティ協議会 会長 嶋田 正章

**「下校時パトロール隊」
 活動の紹介**

当コミュニティ協議会は、「安心・安全で潤いと活力のあるまちづくり」を目指し、活動を行っています。その一環として、「地域の子どもは、地域でまもる」ため、平成20年1月に「下校時パトロール隊」を結成し、今年で7年目になりました。

南中野山小学校の下校時に低学年児童の安全の確保と交通事故防止のため、104名いる隊員のうち毎回12名以上が黄色いジャケットと帽子を着用し、低学年児童の見守りと町内パトロールを行っています。

当地域の犯罪・交通事故も減り、小学校及びPTA、地域住民より感謝されています。また、今年5月には、「江南地区防犯組合連合会・江南警察署」より表彰を受けました。

コミ協内では、毎年、情報連絡会と研修会を2回行っています。今後も地域の安心・安全のため、活動を続けたいと思います。



東山の下地区コミュニティ協議会 会長 田村 稔

**東山の下フェスティバル
 小金公園に2500人が集まり交流**

当コミュニティ協議会は、自治・総務部会、環境衛生部会、民生福祉部会、安心安全部会、教育育成部会の5部会で活動しており、地域の様々な課題は、全てコミ協の活動として取り組んでいます。

最近の行事で特筆すべきは、6月1日晴天のもと小金公園で開催した「東山の下フェスティバル」です。地域の絆をより強め、地域の防災拠点として小金公園が一時避難場所に指定されていることを周知するために開催しました。

当日は、野外ステージでのフラダンス、民謡や藤見幼稚園の万代太鼓演奏、藤見中、新潟東高校の吹奏楽演奏などが繰り広げられ、多くの人でにぎわいました。

子どもイベント広場でのダンスコンテスト、健康福祉コーナーでの骨密度測定や防災グッズの展示も好評でした。

また、飲食ブースではかき氷、ポップコーン、綿あめ、カレーなどの販売に行列ができ、公園内の小川ではニジマスのつかみどりが行われ、たくさんの子どもたちが大喜びでした。

今後もコミ協と住民が一体となったフェスティバルの開催を目指します。



編集後記

この度、東区自治協議会の活動を区民の皆さまに理解していただくための広報紙の第1号を発行することができました。

創刊号ということもあり、タイトルデザインからの編集となり苦労しましたが、編集委員の共同作業により作りあげることができました。

この広報紙は、今年度3回の発行を予定しております。今後も、東区自治協議会と区民の皆さまとの架け橋としての広報紙づくりに努めてまいります。(音田 智)

「東区自治協議会だより」タイトルデザインの紹介

「東区自治協議会だより」タイトルは、東区のシンボルカラー「アクアブルー」を基調色とし、日本海の夕日を背に空高く飛び立つ飛行機を東区の未来・希望としてデザインしました。この飛行機のように東区が未来に向かって羽ばたいていきますように。

(荒木 美穂子)



じちきょうぎかいだより

平成26年8月17日発行

第1号

発行 者
 新潟市東区自治協議会

事務 局

〒950-8709
 新潟市東区下木戸1丁目4番1号
 東区役所地域課内
 TEL: 025-250-2110
 FAX: 025-271-8131
 E-Mail: chiiki.e@city.niigata.lg.jp

ひがしく 東区 自治協議会 だより

～発刊にあたって～

東区自治協議会 会長 山中 知彦

東区民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私たち東区自治協議会は、30名の委員によって構成された区民と行政の協働のための組織です。これまで、「東区まちの宝箱」という東区ガイド冊子を発行したり、「東区防災フォーラム」を開催するなど、区民目線で東区を住みやすく活力のあるまちにしていこうと、市と協働しながらまちづくり活動を展開してきました。これまでは広報が不足し、十分に知られることのなかったその活動を広く区民のみなさまに知っていただき、より役立つ活動をしていくために、この度、広報紙を発行することにいたしました。この広報紙を通して私たちの活動の一端を知っていただき、叱咤激励いただければ幸いです。

～ごあいさつ～

東区長 前田 秀子

東区自治協議会は、区民と区役所を結ぶ「協働の要」として区制施行とともに発足しました。これまで、東区区ビジョンまちづくり計画や区役所新庁舎への移転、警察署の誘致など、区政に係る課題に対して多くのご意見をいただきました。

また、自治協議会が主体となって企画・実施する「自治協議会提案事業」では、地域課題解決のためにさまざまな事業を実施していただいています。

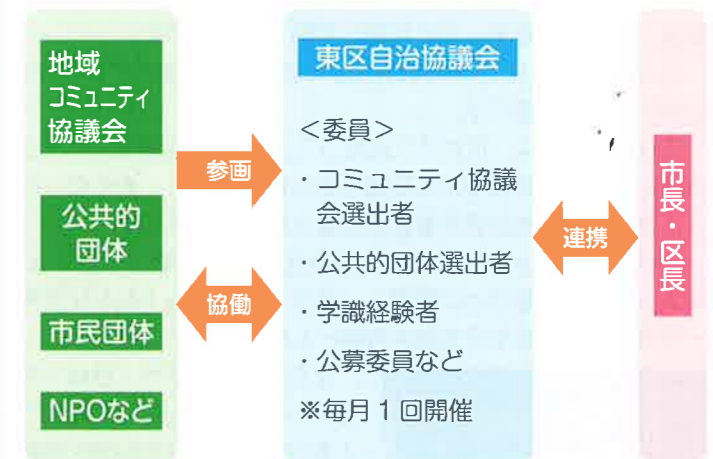
「東区自治協議会だより」の発行は、同協議会の活動を周知するに留まらず、区民の皆さまの一体感醸成や地域力の向上に繋がるものと期待しております。

これからも、同協議会の皆さまと共に安心安全で心あたたかく笑顔あふれる東区づくりに努めてまいりますので、ご支援・ご協力を心からお願いいたします。

◎ 区自治協議会とは？

区自治協議会は、区民と行政が協働することにより区の特徴を活かしたまちづくりを進めるために、地方自治法に基づいて設置された市の附属機関です。協議会の委員は各地域のコミュニティ協議会や公共の団体からの選出者、学識経験者、公募委員などで構成されています。

主な役割としては、①地域課題の解決のため、多様な意見の調整や取りまとめを行う「協働の要」、②市長その他の市の機関から諮問されたことについて意見を述べる「審議機関」としての2つの役割があります。



区自治協議会の会議

区自治協議会の会議は毎月1回、東区プラザホールで開催しています。会議は公開で行われており、傍聴が可能です。全体での会議のほか、3つの部会を設け、それぞれ活動しています。会議の内容や資料は、東区ホームページでご覧いただくこともできます。



会議の様子

自治協議会提案事業

超高齢社会を迎え、複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会が主体的に企画し、実施する事業です。評価についても区自治協議会が事業の自己評価を行っています。

平成26年度東区自治協議会委員



各 部 会 紹 介

東区自治協議会では委員全員が、東区の身近な課題について自主的・主体的に検討するため、いずれかの部会に所属しています。

第1部会

「安心・安全なまちづくりを目指して」

部会長 五十嵐 初司



東区自治協議会第1部会は、市民協働部門を担当し、主にコミュニティ（地域活動・市民活動）、防犯・防災・交通安全、行政運営をテーマに協議し活動する部会です。

平成26年度は、24年度から3年計画で取り組んでいる「減災への取り組み」の総仕上げの年度です。

平成24年度は、区内12地域コミュニティ協議会よりモデル地域を指定し、行政に先駆けて海拔表示の設置事業を行いました。その後、行政が追いかけるように幹線道路に海拔表示看板が設置されていきました。

平成25年度は地震津波災害に特化した、地域ワークショップを区内地域コミュニティ協議会ごとに開催し、防災フォーラム「みんなで考えよう！自助の力～今考えるいのちを守る防災対策～」を開催しました。

また、その様子や「自助・共助」のあり方をまとめた冊子『みんなで考えよう！自助の力 今考えるいのちを守る防災対策(地震津波編)』を発行し、区内地域コミュニティ協議会等に配布しました。

本年度は、昨年度の冊子を使った地域ワークショップを行い、避難所・避難場所への「避難誘導看板」の設置事業を地域コミュニティ協議会と協働で行っています。



避難誘導看板

氏名	所属等
作左部 時 雄	桃山校区コミュニティ協議会
五十嵐 初 司 (部会長)	東山の下地区コミュニティ協議会
南 ミイ子	下山地区コミュニティ協議会
井 川 義 廣	大形地区コミュニティ協議会
折 笠 正 寛	中野山小学校区コミュニティ協議会
大 野 純 一 (副会長・副部会長)	東中野山小学校区コミュニティ協議会
湯 本 美 理	新潟県立大学 (学生)
佐 藤 泰 司	公募委員
若 槻 勲	公募委員
渡 辺 順 子	公募委員

第2部会

「地域の絆をより強く」

部会長 川島 和弘



東区自治協議会第2部会は「福祉・教育・文化部門」を担当し、委員11名で構成され、福祉、子育て、教育、生涯学習、文化、スポーツをテーマに協議し、活動しています。

昨年度は市教育委員会が進める「地域と学校パートナーシップ事業」を支援するために、地域教育コーディネーターとの意見交換会や地域コミュニティ協議会を対象に「地域の教育支援に関するアンケート」を実施しました。



「子どもは地域の宝 地域の未来～小学校と地域が共に取り組む活動の事例集～」

それらの結果を踏まえ、地域の方が当事業を理解し、学校支援ボランティアに参加していただけるように『子どもは地域の宝 地域の未来～小学校と地域が共に取り組む活動の事例集～』を発行し、区内の地域コミュニティ協議会や学校などに配布しました。

今年度は、東区の魅力を広く周知するために、地域を紹介する「デジタル紙芝居制作事業」を行います。制作にあたっては、昔からある歴史的なものやハード面だけでなく、最近できたものや魅力的な事業などのソフト面も紹介し、未来に向かって発展しようとする営みや人々の笑顔があふれる映像を大切にしていきたいと思っています。

氏名	所属等
横 山 敏 之 (副会長)	木戸地域コミュニティ協議会
吉 田 佑 延	牡丹山小学校区コミュニティ協議会
荒 木 美穂子	ぶれジョブ大形
齋 藤 政 一	東区スポーツ推進委員協議会
石 垣 順 子	元まっふ編集委員
川 島 和 弘 (部会長)	元こども創作活動館館長
當 麻 たづ子	東中野山小学校地域教育コーディネーター
本 望 みな子	民生委員・児童委員
清 野 みよ子	公募委員
和 田 澄 恵 (副部会長)	公募委員
加 藤 健 一	東区社会福祉協議会

第3部会

「地域を元気に」

部会長 早福 晃



東区自治協議会第3部会は、商工業・農業・観光、住環境（公害、ゴミ、公園、下水）、都市交通、都市景観、自然環境に関する身近な課題の検討を担当しており、9人の部会員で構成しています。

昨年度は、特に都市交通の課題として、1日6便運行していた東区バス松崎ルートを、平成25年10月1日から本年3月31日までの半年間5便増便し1日11便とした社会実験を実施しました。このルートは、区民の皆様から増便の要望が多く、部会では沿線の主な病院の受付時間を考慮するなど、できるだけ利用していただきやすいような運行ダイヤを検討しました。

結果的に、多くの皆様からご利用いただくことができ、本年度は全体を本運行便として運行することが決まり、一定の成果を出すことができましたと考えています。

今年度の取り組みとしては、部会のテーマの一つである、商工業などの産業に着目し、区民の皆様から区内産業に関心を持っていただき、地域と区内産業との連携を深めることを目的として、区内の事業所などが実施している地域貢献活動（見学会や職場体験の受け入れ状況）などの情報を集め、広く紹介していくことにしています。

今後も、担当する各分野の状況や課題を知り、区のまちづくり計画が着実に進むよう、部会員が一体となって努力していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



氏名	所属等
古 泉 昭 一	山の下地区コミュニティ協議会
西 方 四 郎	紫竹中央コミュニティ協議会
渡 辺 富 雄	江南小学校区コミュニティ協議会
音 田 智	南中野山小学校区コミュニティ協議会
金 子 義 雄	木戸地区商店街連合会
早 福 晃 (部会長)	新潟空港ビルディング株式会社
山 中 知 彦 (会長)	新潟県立大学 (地域連携センター長)
田 村 征 司 (副部会長)	新潟東倫理法人会
清 水 良 一	亀田郷土地改良区